



無断転載禁止

令和 5 年度

黒石高校 情報デザイン科 実践成果報告

～ 地域共創・未来創造 ～

【報告内容】

[黒石市関連]

- I 黒石市立図書館利用者向け広告媒体物のデザイン（連携団体：黒石市教育委員会）
- II 弘南鉄道応援事業の追跡調査（連携団体：弘南鉄道株式会社、紅屋商事株式会社）
- III 黒石自動車教習所創立 60 周年記念事業マスコットキャラクターデザイン（連携団体：黒石自動車教習所）
- IV 産学連携事業「企業に学ぶデザイン」（連携団体：Orbray 株式会社）
- V 令和 5 年度「産学官連携による地域デザイン」
（連携団体：黒石商工会議所、弘南鉄道株式会社、中南地域県民局地域連携部）

[黒石市外関連]

- I 青森県近代文学館企画展「あおり文学食堂」ポスターの制作（連携団体：青森県近代文学館）
- II 木戸川の鮭を使ったマヨネーズ「一番星」ラベル共同デザイン（連携団体：福島県立小名浜海星高等学校）

資料／第 2 回青森県立黒石高等学校情報デザイン科展「星河一天」

【黒石市関連】

I

黒石市立図書館利用者向け広告媒体物のデザイン（連携団体：黒石市教育委員会）

1 概要

昨年度はロゴマークや利用者カード等のデザインでお世話になった黒石市立図書館。今年度は「コミュニケーションボード」をはじめとした、図書館の利便性をさらに高めるツールのデザインにおいて連携を行う。

2 事業内容（コミュニケーションボード、イベントポスター、4コマ漫画、読書通帳のデザイン）

（1）コミュニケーションボード



上：「コミュニケーションボード」デザイン案（左：表、右：裏）

海外からの利用客や耳に不自由を抱える方への対応を強化するために「コミュニケーションボード」をデザイン。文字やイラストを指差しで選択し、利用者と職員とでコミュニケーションを図る。

（2）イベントポスター

図書館で開催する季節ごとのイベントを周知するためのポスター。本校生徒のデザイン案をベースに図書館が最終的に校正し、館内で掲示して利用者の参加を促す。



上：「イベントポスター」デザイン案
（左から2枚：夏のお楽しみ会、右から2枚：クリスマスお楽しみ会）

（3）4コマ漫画

図書館の月刊通信に掲載する4コマ漫画。図書館の使い方やマナーについて、登場する可愛らしいキャラクターが物語の中のやり取りによって伝えている。

掲載は3月末まで継続する。



上：「4コマ漫画」

（4）読書通帳

読んだ本について記録し、自分の読書の履歴や、お気に入りの度合いがどれくらいであったかを確認できる。子どもに限ったものではないが、子どもが通帳をいっぱいにしたいようになるような工夫を凝らしている。



上2枚：読書通帳（左：表、右：裏）

II

弘南鉄道応援事業の追跡調査

(連携団体：弘南鉄道株式会社、紅屋商事株式会社)

1 概要

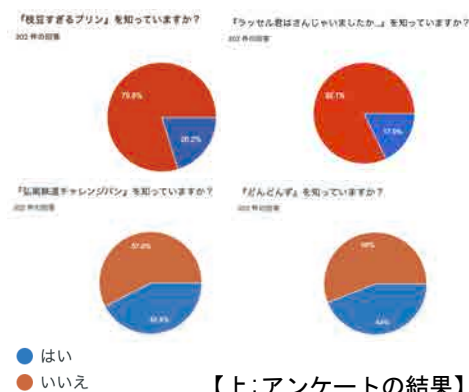
令和3、4年度の青森県の事業の一環で2年間取り組んできた「弘南鉄道応援商品開発事業」。今年度は我々情報デザイン科生徒が開発に携わった3商品/年×2年=全6商品について、実際に弘南鉄道車内や本校文化祭の会場での商品販売会を実施したり、販売を手掛ける紅屋商事株式会社へのヒアリングを行ったりした。これらの活動によって地域の方々へ商品を宣伝するとともに、6商品が市場に出てからどのように流通してきたのか、実際に調査をしてきた。

2 事業の様子

(1) アンケート調査

- ・調査対象…黒石高校 教員と生徒 計302人
- ・調査日時…令和5年5月24日～5月29日
- ・調査内容…『弘南鉄道チャレンジパン』『どんどんず』(R3年度)、『枝豆すぎるプリン』『ラッセル君はさんじゃいましたか…』(R4年度)の計4商品の知名度
- ・調査ツール…Google フォーム

令和4年度開発商品に比べ、令和3年度開発商品の知名度が高いという結果が分かる。令和3年度の方が女優の王林さんによるSNSでの広報やTVでの露出等が多かったことが理由に挙げられる。



(2) 販売会

①黒高祭(本校文化祭)

商品販売日時…令和5年7月8日(土)
9:00～12:30

販売場所…15HR 教室内、1・2階廊下



【上:黒高祭での販売会】

②弘南鉄道(弘南線)車内

商品販売日時…令和5年7月22日(土)

①黒石駅発 10:45 弘前駅着 11:14

②弘前駅発 11:50 黒石駅着 12:26

販売場所…弘南鉄道(弘南線)車内



【上3枚:弘南鉄道車内での販売会の様子】



(3) 広告の制作

(ポスター、中吊り広告、棚上広告)



【左上中下:車内広告 右:販売会案内ポスター】

弘南鉄道車内での販売会に向けて各種広告をデザインし、ポスターは校内で掲示。中吊り広告等は当日車内に掲示することで広報活動に当たった。

(4) バイヤーさんとの情報交換

実施日…令和5年11月1日(水)

お相手…紅屋商事株式会社 SM 事業部洋日配
バイヤー 種市様

令和4年度商品開発・販売商品売り上げや購入者の年齢層等についてインタビュー形式で情報交換を実施。

販売業者に直接インタビューを行うことで、商品が市場に出るまでにどのようなプロセスがあるのか、廃盤となる理由等、自分たちが生み出した商品がお店に並んでからどのように流通していくのかを主体的に学ぶ機会となった。

黒石自動車教習所創立 60 周年記念マスコットキャラクターデザイン事業 (連携団体：黒石自動車教習所)

1 概 要

これまで黒石市民の自動車運転免許状の取得を支えてきた黒石自動車教習所は、今年度 9 月に創立 60 周年を迎えた。この記念として、同社の記念マスコットキャラクターのデザインの依頼を受ける。地域の子どもたちから末永く愛されるキャラクター、自動車や交通安全に関わる見た目等、自動車教習所ならではのデザインとなるよう試行を凝らす。

また、本事業ではただデザインをするのではなく、クライアントが普段どのような仕事をしているのか、そして地域とどのような関わりを持っているのかを、実際にデザインに当たる生徒たちが同社のイベント等のお手伝いをする中で、企業理解を深めることに重点を置いた。デザインをするということは、デザイナーが良いと思うことを形にすることではなく、クライアントに寄り添い、相手を知ること、アイディアが深まることを学ぶことに繋がる活動となった。

2 事業の様子

(1) 企業を知るための活動（黒石自動車教習所の普段の取り組みを知る）

① 幼児向け交通安全教室



② スマイルプロジェクト（納涼会）



「良いデザインを作る＝相手をよく知る」をキーワードに、クライアントである黒石自動車教習所の日頃の取り組みに幾度か関わらせていただいた。これらの活動をとおして知り得た情報は、実際にデザイン案を構想するための手がかりとなった。

【左から 2 枚：幼児向け交通安全教室の様子 一番右：スマイルプロジェクト参加時の画像】

(2) 実際の作品



【上 5 枚：5 名の生徒によるキャラクターデザイン案】

活動を通して感じ得た企業イメージを元にデザイン。さらに、子ども向けの見た目、着ぐるみ化も視野に入れること、車、交通安全指導、といった情報を取り入れたデザインとした。

最終的に一番左の「かけるくん」が採用決定となる。

(3) キャラクター採用と

そして制作パネルのお披露目



【上：黒石自動車教習所が制作したパネル】

採用となったキャラクターを同所が所内に掲示し、教習生や職員、地域の方に知ってもらうために制作したパネル。生徒たちも自分たちの取り組みが実際に社会で活用される場面を見て驚きを見せた。

(4) キャラクター採用者への表彰

及び制作した生徒への感謝状贈呈式



【上：表彰式の一場面（本校校長室にて）】

表彰式が行われたのは 9 月 26 日（火）。この日は奇しくも同社の創立記念日であった。賞状・感謝状のプレゼンターは同社の代表取締役社長の棟方さん。

1 概 要

令和4年、今回連携することとなった企業代表取締役並木様と偶然出会う機会があり、産学間でデザイン連携できないものかというご提案があった。当該企業は旧アダムンド並木精密宝石株式会社であり、黒石工場を製造部門の一拠点として日本国内のみならず世界各地に7拠点を有する著名な製造企業である。折しも令和5年1月1日をもって社名を変更して新たな一歩を踏み出すという状況から、地域にあり、かつ世界的な事業展開を行う企業の立場から、企業の有する使命や働くことの意義について学ぶ機会として、並木社長の講演会、黒石工場の見学、デザイン成果物の制作までを一連の取組みとして設定した。



▲6月6日、並木里也子社長による講演会の様子

2 活動の様子と成果物（以下の取組みは情報デザイン科2年生による）

（1）黒石工場見学とヒアリング ～ Orbray とはどんなところ？働く意義とは？ ～（6月29日）



◀ 写真左から
工場見学の様子／部門ごと
担当者※からのヒアリング／
アイボについての製品説明

※「部門ごと担当者」とは、製造・技術・品質保証・管理の4部門を指す。

（2）キッズパンフレットの制作と活用



【左図成果物：キッズパンフレットについての補足説明】

今般制作のキッズパンフレットは社名変更に伴う会社案内冊子の内容を参考とした。当該冊子には企業発足当時から取組み6項目がエポックとして取り上げられており、本事業に取組む本科体制も6チームであったことから、各チーム1エポックを担当し、子供向け案内となるよう表紙を変えて6種類のパンフレットを制作した。折りは生徒の提案からマジック折を採用し、10月スポカルイン黒石で行われた黒石市内小学5年生対象のキッズハローワークで公開され、現在、秋田湯沢工場等での活用も検討されているところである。

▲ 写真左上／企画検討の様子 写真左下／マジック折りの作業風景
写真右上／6チーム分合計72冊のキッズパンフレット完成版
写真右下／10月26日開催の「2023 キッズハローワーク」の様子

令和5年度「産学官連携による地域デザイン」 (連携団体：黒石商工会議所、弘南鉄道株式会社、中南地域県民局地域連携部)

1 概 要

本科では令和3年度及び4年度の2年間にわたって、中南地域県民局主導による「高校生と考える中南地域ビジネス創出事業」として「バズる商品開発」に取り組んできた。地域資源と高校生のアイデアの掛け合わせによる弘南鉄道沿線の活性化を目指した事業であったが、今年度はその趣旨を継続して本科が主体となり、かつ本科の特徴を活かした地域振興への参画活動を本事業の目的とした。具体的には地元事業者の商品・サービスに関して、弘南鉄道車両広告を本科生徒が制作し、掲出・運行させることにより生じる広告料を弘南鉄道支援金とする本科初の取組みである。

2 活動の様子とその成果 (以下の取組みは情報デザイン科2年生による)

(1) 広告制作演習と地域プレーヤーによる特別講義



▲3年課題研究班制作による事業ポスター

写真左／特別非常勤講師制度による特別授業「広告制作演習」

講師：川村将之氏（デザイナー）

写真右／中南地域県民局地域プレーヤー派遣による特別講義「逆転の発想」

講師：赤木アサカ氏（デザイナー）

※この他に小野大輔氏（弘前工業研究所研究管理員）、前田秋子氏（一社 Clan PEONY 津軽）の講演をいただいた。

(2) 事業者との打合せ・広告掲出・掲出風景



写真上段左・中央／依頼事業者との打合せ風景
写真中段／弘南鉄道車両内への広告掲出の様子
(1月30日、於：平賀駅車庫内)

その他の写真／2月分広告の掲出状況

※広告の掲出は全18事業者より希望があった。広告は1チームで3事業者を担当し、写真を主とするもの、イラストを主とするもの等多彩な内容となった。運行は3月31日まで。



【黒石市外関連】

I

青森県近代文学館企画展「あおり文学食堂」ポスターの制作 (連携団体：青森県近代文学館)

1 概要

昨年度、当時の情報デザイン科2年生(現3年生)が青森県近代文学館より依頼を受け、同館が開催する企画展示のポスターを制作。その後今年度となり、令和5年度の企画展「あおり文学食堂」に向け、再びポスターデザインの依頼を受ける。同館では特に若年層への読書愛を育むため、イラストレーションを用いた表現により展示会に親しみを持ってもらいたいと考えている。

2 作品について【右:あおり文学食堂ポスター(令和5年度)】



昨年度より同館の企画展示のポスターデザインを請け負っている。昨年度は教科書で取り上げられる作家作品をテーマとした「教室で出会った文学」。

今年度は「食」という切り口から、青森に関わる文学作品や作家などを紹介するテーマのもと開催された「あおり文学食堂」のポスターをそれぞれ制作。

【左:「教室で出会った文学」
ポスター(令和4年度)】



II

木戸川の鮭を使ったマヨネーズ「一番星」ラベル共同デザイン (連携団体：福島県立小名浜海星高等学校)

1 概要

商業科や水産科を持つ福島県立小名浜海星高等学校。昨年度、本校情報デザイン科がブース出展をしていた「第32回全国産業教育フェア青森大会(さんフェア青森2022)」での同校の高野教諭との出会いをきっかけに連携が実現。昨年度は小名浜海星高校の生徒が描いたイラストをデジタルデータ化する取り組み、今年度は同校が開発した商品のラベルを共同でデザインする取り組みをそれぞれ行った。

2 生徒同士の会議(オンライン)の様子と採用作品



【左: オンライン会議の様子、右: 鮭マヨネーズ商品】



【上: 小名浜海星高校との取り組みを
まとめたポスター(担当生徒作成)】

第2回青森県立黒石高等学校情報デザイン科展 「星河一天」

令和5年12月9日（土）、10日（日）／さくら野百貨店弘前店 4F 文化ホール

1 概要

昨年度に引き続き、3年間の学びの集大成として「第2回情報デザイン科展」を企画・開催した。本展には在籍する全学科生の作品を出品・展示し、学科の学びについて情報発信するという側面を併せ持つ。今回展は昨年度を超える合計610名の来場者を迎え、大盛況かつ好評のうちに終えることができた。

弘前で、尚且つ商業施設で本展を実施する最大の利点は集客力の強さにある。黒石高校は黒石市のみならず周辺地域から通学する生徒も多いことから、これまでさくら野弘前店を会場として選定してきた経緯がある。アンケートの抜粋を後掲するが、ここではその作品展示の全景を紹介する。



第2回展
ポスター ▶



① 1学年展示

「私の Square Garden」特別授業成果物展示 ※前方作品
「細密描写歴史探訪～古（いにしえ）の技を描写する～」
※壁面作品

② 令和3～4年度取組事業

「高校生と考える中南地域ビジネス創出事業
～バズる商品開発～」

③ 2学年展示 令和5年度「産学官連携による地域デザイン」～弘南鉄道車両広告をつくる～

④ 2学年展示 「青森フォントの考案」※前方作品 「黒石子ども体験 EXPO」のためのポスターデザイン ※壁面作品



- ⑤ 3 学年展示 課題研究「台湾祭」班 展示風景
- ⑥ 2 学年展示 産学連携「キッズパンフレット」展示風景
- ⑦ 3 学年展示 選択Ⅱ「メディアデザイン」展示風景
- ⑧ 3 学年展示 課題研究「黒石自動車学校」班 展示風景
- ⑨ 3 学年展示 選択Ⅱ「ブランディング」展示風景
- ⑩ 3 学年展示 課題研究「1 億円プロジェクト」班 展示風景

さくら野文化ホールは黒石商業高校時代から活用してきた展示施設である。広いホールを埋め尽くすことは容易な作業ではないが、アンケートの内容からも分かるように開設から4年間積み重ねてきた本科の実績が十分反映された展覧会となった。これも生徒の努力はもとより、ここまで導いてくださった外部機関の方々との連携の賜物であると心から感謝の意を伝えたい。同時に今後とも本科のデザイン活動により一層のご指導をお願いする次第である。

学科特別企画／「自分を漢字一文字」で表すなら？ ▶



「第2回情報デザイン科展」アンケートより ※一部抜粋

- 生徒の皆さんの熱量が伝わる素敵な展示会でした。とにかくすごい！！デザインを通じて様々な人と関わって、それを作品として表現できていることが何より作品の魅力になっていると感じました。(30代・女性)
- 学習教室の卒業生が入学したので作品展を拝見しに参りました。非常にレベルの高いデザイン性に富んだ作品ばかりで見応えがありました。情報デザイン科で学んでいる内容をよく知らない小・中学校の生徒や保護者の方が大勢いらっしやと思います。もっと周知していけたら良いのではと思いました。(50代・女性)
- まさに星河一天、“一つ一つ”が素晴らしく星が輝いているように見えました。日頃の子供達の努力をこのような形で展示してもらえる場を作っていただき感謝しています。自分の子供がこんな作品を描いている、本当に感動しました。ありがとうございました。(生徒保護者・女性)
- 体験入学の時と合わせてこの展示会で、さらにどのような活動をしているのか知ることができました。それぞれの学年の活動に興味を持ち、黒石高校情報デザイン科に入りたいという気持ちがより高まりました。(中学生・女性)
- 娘と見に来ました。デザインに興味を持ち始め、進学先として黒高を考え始めたので今回の展示を知り、足を運びました。1年生からしっかり基礎を学ぶことで展示のような素晴らしい作品が描けるんだなと感じました。漠然と「情報デザイン科」について、こんな感じかなと思っていたのですが、それ以上に立体デザインやPCを使ったもの、企業とコラボしたものなどたくさんの作品があり、感動しました。(30代・女性)
- 受付の生徒さんの明るい対応に始まり各学年ごとに作品も表現も成長していく様子がよくわかる素晴らしいデザイン展でした。地域と深く関わり合いながら学んだことや身につけたスキルがどのように社会に役立っていくのかを体験しながら勉強することができる良い学科だなあと改めて思いました。多くのプロや学校外の大人と関わる機会が多くあることも分かり、デザインの好きな中学生にぜひ見に来てほしいと思いました。(50代・女性)
- 昨年も拝見させていただきました。今年はさらに進化している印象を受けました。一つ一つの作品の素晴らしさに魅了され、圧倒されました。作品を完成させるまでの観察、ヒアリング、考え、学ぶことなど、そこに至るまでのプロセスを感じられる取組み、姿勢に感動を覚えました。ありがとうございました。(50代・男性)
- 黒石高校の情報デザイン科はどのような授業を受けているのか、中学生の進路指導に役立てたいと思い訪問しました。ニュースで見聞きして知っているつもりでしたが黒石市内だけではなく他県や海外に向けて活動をしていることを知り、驚きました。生徒さんの一人一人、個性の違う感性があり、みんな違ってみんな良いという言葉が真っ先に浮かびました。「迷ったら黒高情報デザイン科へ」と生徒に宣伝しようと思います。(中学校教員・男性)

※アンケートのご協力、ありがとうございました。

●第2回生から第4回生までの集合写真(2023年12月4日 撮影)

